

# ひょうご企業探訪

2019 学生が聞く

⑤

## 「Q・B・B」若者狙いPR

家庭用プロセスチーズの最大手で、世界で初めて棒状の「スティックチーズ」を開発したことで知られる。同業他社との差別化を図るため、「Q・B・B」ブランドのさらなる知名度向上を目指す。甲南大の西村順二教授のゼミ生が塚本浩康副社長を訪ねた。

— 主な販売商品は。  
「チーズ、チョコ、ナッツです。中でもチーズが全体の売り上げの95%を占めています。社名に『バター』とありますが、バターを製造したことは一度もありません」

— 社名の由来は。  
「当初はマーガリンを製造する平和油脂工業として創業しました。当時、マーガリンが『人造バター』と呼ばれていて、六甲山の麓で作る人造バターというこ

### 六甲バター(神戸市中央区)

### 塚本 浩康副社長(43)



塚本浩康副社長(右)に話を聞く甲南大3年の井上凛太郎さん(中央)と橋本梨央さん(神戸市中央区坂口通1)

とで商品名を『六甲バター』と名付けました。商品をP Rするために1954年、現在の社名に改めました」  
— 課題は。  
「主力のプロセスチーズの1位は雪印で、Q・B



豊富な商品ラインナップ

### メモ

1948(昭和23)年創業。社員は405人。2018年度12月期の売上高は526億円。各種チーズを製造販売する。19年春採用が14人、20年春は10人を予定。神戸市中央区坂口通1。☎078・231・4681

— 今後の戦略は。

「若年層へのアプローチを強化します。昨年は、まずQ・B・Bチーズを食べてもらえる機会をつくろうと、女性客の多いカフェと協力して、期間限定のコラボメニューを提供する企画を実施しました。東京・青山を手始めに神戸、名士屋、仙台など各地で開催し、毎回とても好評でした。チーズを使ったさまざまな料理に触れることで、若者にチーズの可能性を知ってもらいたいですね」  
(まとめ・中村有沙)

